

# III

## 移り変わるお金のガジェット



## シンカする貨幣博物館

# 変化するお金の在り方を未来に伝える

お金の在り方が変化の中で、変化しつつあるお金の周辺の文化を未来に伝えていく活動(財布やご祝儀袋等、お金に関する様々な物の収集・保存)も貨幣博物館の役割です。

### お金にまつわるさまざまな「ガジェット」

貨幣博物館の所蔵資料の中核

#### 銭幣館コレクション

#### 移り変わる「ガジェット」を残す

江戸時代後期 ▶▶▶ 20世紀前半	20世紀後半 ▶▶▶ 現代	現代 ▶▶▶ この先へ
<p><b>貯金箱</b></p>  <p><b>財布</b></p>  <p><b>商品券</b></p> 	<p><b>形あるお金を入れる・包む</b></p>  <p><b>財布</b></p>  <p><b>支払いの「ガジェット」</b></p>  <p><b>商品券</b></p> 	<p><b>形が見えづらくなりつつあるお金をとりまく環境</b></p>  <p><b>商品券</b></p> 
<p><b>両替屋</b></p> <p><b>手形</b></p>  <p><b>金枡</b></p>  <p><b>銀行</b></p> <p><b>手形・小切手</b></p> 	<p><b>金融機関の「ガジェット」</b></p> <p><b>銀行</b></p> <p><b>硬貨枡</b></p>  <p><b>通帳・キャッシュカード</b></p>  <p>日本銀行「標本貨幣」より</p>	<p><b>商品券</b></p> 

### 現金を包んで贈る — 儀礼場面での風習 —

お祝いやお悔やみなどで現金を包んで贈るときには、さまざまな風習がある。 ※地域などにより風習が異なるため、一例。

#### お祝い

- 新札を用意する。事前に準備し、お祝いの心を表す。
- 中袋に書く金額は、壱・弐・参・萬などの文字(大字)を使用。
- お年玉などでポチ袋にお札を入れる時は、3つ折りで、開いたときに表(肖像側)になるように、左・右の順に折る。
- お祝い・お見舞いの金額に、「死」や「苦」を連想させる「4」、「9」がつく金額を包むのはタブーとされる。
- 結婚式では6万など偶数の数字も「割り切れる」=「別れ」を連想させるので避けられるが、ペアをイメージさせる「2」、末広がりで縁起がよい「8」は、最近では良いとされている。

#### お悔やみ

- 新札は避ける。葬儀は突然で、事前には準備しないため。
- 袋が立派すぎるまたは簡素すぎるなど、金額に見合わない不祝儀袋は避ける。

お返しは、一般的に1/3～半分の金額程度の品物で返す事が多いようです。

### お金に祈り・願いや気持ちを込める

**御雲前**

現金は気持ちと共に使われる場合があります。お祝いやお悔やみの気持ちを表したり、祈りや願いを込めて捧げられたりします。

**祈りが込められた釣り銭**

百貨店で大安の日に、神社で「家内安全」の祈りを捧げられた5円玉が釣り銭として渡された。

お賽銭箱の前で「小銭がない」と焦ることは以前より増えているかもしれませんが、お賽銭のキャッシュレス化も話題になりました。

ローマのトレビの泉、神社にある池、テーマパークのお城前の池にも…水のある公共空間では、祈りや願いを込めて投げ入れられたお金を目にします。

足尾銅山 2025年撮影

鉢山内で溜まる水から銅を採取する展示に投げ入れられたお金

**大入袋**

興行などで客席が満員になった際に、祝儀として関係者に配られる。

“祈りを込められたお金”が埋められ、供えられて神仏に捧げられた古代からの文化のこれからは皆さんはどう想像されますか？

京都府 2025年撮影

### 現金が贈答品として普及したはじまり 室町時代の銭を贈る目録

お金そのものが、日常的に贈答品となる習慣は、日本特有と言われる。お金が贈答品として広く普及したのは、贈与が広く行われた室町時代である。

#### 室町時代のお金の贈り方

- お金(銭)が贈り物となる場合、まずは金額が書かれた贈答品の目録「折紙」が贈られた。(お金以外の品物(馬や太刀など)の場合も同様)
- 目録で書かれる金額は通常の銭の単位「文」「貫」ではなく、「疋」(1疋=10文)という単位が好まれた。お金は通常、後から届けられ、目録「折紙」は返却された。
- お金が届けられるまでの時間は、数日後のこともあれば翌年、あるいは数年後のケースも見られる。この時差は、手元に資金がなくても贈与を可能にしたり、贈与に対して期待する見返りを確実にするために使われることもあった。



銭の折紙(写)  
国立公文書館蔵(内閣文庫)

現在も、目録を使った贈答は、結納や受賞などの場面でみることができる。

主な参考文献:  
桜井英治「贈与の歴史学 儀礼と経済のあいだ」、同「交換・権力・文化」

## 電子マネーのはじまり

電子マネー(プリペイド方式、非接触ICカード型)は2001年11月よりコンビニなどで本格的に使えるようになったEdyやJR東日本のIC乗車券Suicaなどにより、広く普及していきました。

### 交通系電子マネーの初期のポスター

電子マネーは四半世紀にわたり使われ、さまざまな支払いに用いられるようになった。近年はスマートフォンやスマートウォッチなどにも取り込まれている。

10円玉を準備し並んでいた公衆電話。磁気式のテレホンカードが登場し(1982年～)多くの図柄が発行されコレクションもされました。

#### 磁気式プリペイドカード

#### テレホンカード

当初は電話会社(当初、電電公社、後にNTT)が作成した図柄のカードだけだったが、後に企業や個人などが様々なデザインのカードを発行するようになった。冠婚葬祭で包んだ現金を受領したお返しに添えられることも多くあった。



#### 非接触式ICカード(近距離無線通信型)

2001年に非接触式の交通系ICカードが導入され、翌年には大手コンビニエンスストアで、非接触式のカードでの支払いが導入された。2004年には携帯電話(いわゆる「ガラケー」)に、「おサイフケータイ」としてこの機能が搭載され、今ではスマートフォンやスマートウォッチで、「ピッ!」とすることができるようになった。

#### 「電子マネー」

「電子マネー」という言い方は、2001年～2002年に登場した非接触式ICカードを呼ぶところから始まったとみられる。最初に登場したのはプリペイド(先払い)式で、後にポストペイ(後払い)式も登場した。

## 移り変わる“ガジェット” 商品券と手形

商品券は、代金前払いが必要な時に商品と交換でき、現在でも贈答などで使われています。江戸時代には商品切手と呼ばれ、大坂など上方で多用されました。大正～昭和時代にかけて広く普及しました。

### 現金の代わりに… 商品券

#### 江戸～明治時代の商品切手

菓子や豆腐など日持ちのしない商品や、持ち運びに不便な酒などを中心に、贈答に好んで使われた。明治時代には百貨店発行の呉服切手が登場した。大坂では虎屋伊織の「饅頭5文切手」が商品切手の始まりと言われている。



**饅頭5文切手** 虎屋伊織 1793年 914676  
**生諸白1升預** 和田 江戸時代 914600  
**饅頭1うつわ(価半円)** 東呉 明治時代以降 914669

#### 描かれた商品切手 贈答の一場面

昭和初期の漫画小説の一節「祝いの商品切手」には、近所の酒屋で出産祝いの商品切手を買い、ご祝儀袋に包んで先方に持参する様子が描かれている。



岡本一平「祝いの商品切手」『人の一生』1927年 NDL蔵

#### 現代の商品券

同業の小売組合による全国で使える商品券や、複数の百貨店が共通して発行する商品券などがある。近年では紙製の商品券が少なくなりつつある一方で、特定のウェブサイトで使えるギフトカードも登場し、形を変えつつ使用されている。



資料協力：株式会社ジェシービー

#### 時代を映すギフト券(商品券)

近年では、相手の住所や実名を知らなくても、SNSやメールを通して贈ることができるギフト(eギフト)も多くなりつつあるようになった。

### 現金の代わりに… 手形・小切手

#### 江戸時代の手形

江戸時代に手形は大坂など上方の商取引で盛んに使用された。両替屋を介して支払う手形と、商人間で取り扱われる手形があり、取引ごとに様々な手形が使い分けられていた。



**預り手形** 1861年 915680  
振出人：三井八郎右衛門  
宛先：万屋基兵衛

**振り手形** 1867年 915719  
振出人：泉屋仙助  
宛先：米屋三十郎  
受取人：灘いせや

#### 明治時代の手形・小切手

近代的銀行の設立・整備に伴い、為替会社や国立銀行などが顧客に対し手形や小切手の振出しを認めるようになった。



**約束手形**  
1879年 915689  
振出：第四十四国立銀行  
宛先：茅野茂兵衛



**為替手形**  
1880年 915556  
振出：東京三井銀行  
宛先：三井銀行四日市出張店  
受取人：橋本又四郎



**小切手**  
1905年 915776  
振出：河野製糸部  
宛先：(合名)河野本店  
持参人私

イギリスでは少し前まで小切手による支払いは、現金に次ぐ主流の支払い手段であった。今ではデビットカードやクレジットカードの“タッチ決済”(コンタクトレス)が主流となっている。

#### 現代の小切手

銀行に当座預金をしている人が振出し、所持している人に一定の金額を支払うことを銀行に委託するもので、現金の代わりとして使用される。



**イギリスの小切手帳**  
1992年 National Westminster Bank  
グラスゴー支店 917698



**イギリスの小切手帳**  
1994年 National Westminster Bank  
ブラッドフォード大学支店 917699

商品券や手形などの資料を古貨幣・古札総合データベース(東京大学経済学図書館/画像は早稲田大学リポジトリ)にて公開

## 移り変わる“ガジェット” お金を数える・包む・しまう

銭幣館コレクションの中には、お金を数える・包む・しまう道具も含まれています。江戸時代から近現代にかけての移り変わる道具を紹介します。

### お金を… 数える



**江戸時代の金枡**  
959343

金枡は、両替屋等で小型の計数金銀貨を数えるのに用いられた。一朱銀用は80枚を数えることができる。



**現代の金枡**

プラスチック製。基本的な形は江戸時代のものから変わっていない。日本銀行現用。

### お金を… 包む



**江戸時代の貨幣を包む紙**  
960007, 183, 796

金銀貨を包む際に使われた。



**明治・大正時代の貨幣を包む紙**  
960012, 960009, 960011, 1197

造幣局で金貨や補助貨幣を包む際に使用された。



**封がされた100円白銅貨**  
1969年 1439

日本銀行にて、硬貨自動包装機により封がされたもの。1包50枚入。

### お金を包む文化

江戸時代の絵画にも献上や下賜など和紙に金銀貨を包み贈る場面がみられる。お金を包む文化は時代と共に変わってきた。お祝いの場面、葬儀などでは、現金を紙に包んで贈る風習が古くからある。



主君より錢別に小判包をもらう武士



「尾上松助 和田しづま」より 900375

### お金を… しまう



**江戸時代の財布**

財布はお金の形や文化に合わせて変化してきた。江戸時代には、もともとの用途が異なる胴乱や、紙入れなども財布として使用された。生地や金具にこだわったおしゃれな財布も登場した。

左から 958239, 958147, 958123, 958050



**現代の財布**

現代の財布は、カード類も入れられる長財布型のものから、お札を挟めるだけのタイプまで、多種多様な形が使われている。

## 変わりつつある銀行の“ガジェット”

銀行に関する“ガジェット”も少しずつ変化してきました。銀行でのお金のやり取りは店舗の窓口が中心でしたが、1970年代にはATM（最初はCD〈キャッシュディスペンサー〉）が普及しました。近年はインターネットでの手続きも増加しています。



足尾銅山記念館 展示資料より

### 明治初期の第一国立銀行の通帳

古河(古川)市兵衛が草倉銅山(新潟県)創業時に、渋沢栄一のもとを訪れ、第一国立銀行から1万円を借り入れた際(1876〈明治9年〉)の通帳。



戦前の通帳 表紙

### 通帳 キャッシュカード

通帳は、戦前には手書きであったが、後に機械印字となった。また通帳には届出印が押されていたが、今は無くなりつつある。ATMも最初は、通帳やキャッシュカードで、現金を引き出せるだけであったが、今では入金、振替もでき、また他の銀行からお金を引き出せるようになった。キャッシュカードも、磁気ストライプ付きからICチップ付きに変わった。ATMのそばには、引き出したお金を入れて持ち帰るための封筒がおいである。

## 時代を映す銀行の粗品



**印鑑入れ**  
銀行での手続きに印鑑を利用。

銀行の粗品も、算盤(印鑑入れセット)からカード型計算機へ

**貯金箱や「貯金帳」** 954603, 954702  
銀行の窓口でもらうことのある粗品は、少し前までは貯金箱も代表例であった。「貯金帳」というコインを入れて貯める粗品もあった。

## インターネットの中の銀行



**銀行のワンタイムパスワードカード**  
インターネットバンキング用の使い捨てパスワード生成機。使い捨てパスワードを表示するスマホのアプリにより不要となりつつある。

**変わりゆく銀行の手続き**  
銀行に預けたお金を引き出したり他の銀行の口座へ振り込んだり、ハンコと通帳で窓口で手続きをしていたのが、ATMで通帳やカードと暗証番号で手続きするようになり、パソコンやスマートフォンを使ってパスワードで…と変化し続けている。

現金輸送車のおもちゃ

## 現金を運んでいた貨車「マニ車」 -「マニ30形式荷物客車」-



「マニ車」とは、かつて日本銀行が、お札の輸送に使用していた鉄道客車の俗称。「マニ」とは国鉄当時から客車車両の形式記号。「マ」=重量(42.5t以上47.5t未満) 「ニ」=使い方(荷物車)

北海道・小樽市総合博物館で展示中(屋外展示のため夏期のみ見学可能)

### 銀行の地図記号



銀行の地図記号は、江戸時代の金融機関である両替屋が使用していた貨幣を秤る道具「分銅」に由来する分銅形の記号が長く使われている。現在でも国土院の1万分の1地形図で使われているほか、主要な地図アプリでは同記号が用いられている。



一方で国土院は外国人にも分かりやすい銀行の地図記号として銀行のATMに由来する左記のマークを策定し公表している(2016年)。また一部地図アプリでは、これとは異なるATMを表した記号が用いられているケースも見られる。

## 変わりつつあるお金の“ガジェット”

お金の周辺の入力物、さまざまなツールの在り方も時代とともに変化しつつあります。

**お給料いつまで現金でもらっていた?**  
給料袋 月謝袋 集金袋 現金書留

「お給料を現金でもらって、用途別に封筒に分けて」…という実体験がある方はどれくらいいるでしょうか。「アルバイト代は現金でもらった」という方もいるかもしれませんが。習い事などの月謝袋は健在かもしれません。

**コロナ禍で需要の増えたこのお皿、名前知っている?**  
カルトン(コイントレー)

「カルトン」はコロナ禍では現金を直接受け渡すのを避けるため、需要が増えたといわれています。トレーの底に、ギザギザがあり、コインを取りやすくする工夫がされているタイプも見られます。

現用・日本銀行

**500円玉貯金 やったことある?**

いろいろ貯金箱  
小さい頃、貯金箱に、お小遣いを貯めて、貯まったら銀行に預けたことはありませんか? 500円玉貯金箱に貯まったお金でプチ旅行にいったことはありませんか?

**お年玉袋**  
お年玉を現金で渡す文化の登場は高度経済成長期以降(1950年代後半〜)のことです。お年玉はキャッシュレス化の波で既に「お年玉袋」が使われないケースもあるようです。

## 変わっていく決済端末



カード差込み式  
クレジットカード決済端末



タッチ式  
電子マネー・クレジット  
カード決済端末



コード決済端末



インプリンタ  
クレジットカード決済端末  
カーボン複写紙により、カード番号などを伝票に写し取る道具。  
そのためカード番号はエンボス加工されていた。



お店の人が読み取り機を  
スマホの画面に当て支払  
う方法。

コードによる支払い いろいろ  
スマートフォンを利用したコード  
決済は日本では2010年代  
後半から広がりを見せるよう  
になり今では多くの店で使わ  
れるようになりました。



①自分のスマホでお  
店のコードを読み取り、②支払金額を自  
分でスマホへ入力し、③その画面をお店の  
人に見せて支払う方法

画像協力:株式会社NTTドコモ

## 変わっていくレジ周りのサイン



クレジットカード、  
電子マネー、コード決済  
レジの前でいろいろな決済方法  
のロゴを前に、自分が支払おうと  
している方法のロゴがあるかを探  
したり、どれで支払おうか迷った  
りしたことはありませんか？



どれで支払おう…  
これで支払える？

この数年で日々の買い物での支  
払い方法は変わりましたか？数年  
後、現金、カード、スマホ…何を持  
ち歩き、商店街、コンビニ、レスト  
ラン…それぞれどんな風に、何で  
支払っているでしょうか？

資料協力:  
株式会社 NTTドコモ  
株式会社ジェシービー

### 小売店などの支払い端末の変化

小売店などでは、クレジットカード、  
電子マネー、両方使える小型の決  
済端末を見かける機会も多い。

### コンビニなどのレジでの支払い



自分のスマホの  
バーコードを読み込む



カードを  
タッチする



店頭の利用可能な  
支払い方法の表示



スマホを  
タッチする

撮影協力:株式会社 セブン・イレブン・ジャパン



Wi-Fiを使った無線の  
決済端末も増えてい  
ます。飲食店で店員さ  
んが座席に決済端末  
を持ってこられること  
もありますね。

レジ周りの風景、支払  
いの場面も少しずつ、  
変わっていきますね。

### おもちゃにみるお金の在り方の変化



銀行ATM (おもちゃ、子ども向け  
ムックの工作付録)  
2025年  
通帳やキャッシュカードも付い  
ており、ボタンを押すとATMの  
音声も再現される。



コンビニのレジ (おもちゃ)  
2016年  
支払方法としておもちゃ  
の現金とカード型電子マ  
ネーも付いている。

### 大規模イベント会場でのキャッシュレス化

感染症の流行も大規模イベント会場  
でキャッシュレス化が推し進められる要因と  
なった。  
2023年に新規オープンした大型野球施設  
でも、混雑緩和や衛生的な支払いなどを  
目的に、完全キャッシュレス決済となった。



2023年

大阪・関西万博会場内は約70種の決済ブ  
ランドに対応し完全キャッシュレス決済で  
あった。但し、現金からプリペイド型電子  
マネーへのチャージ機が設置された。



2025年